

●新刊図書紹介 (★…ピックアップ図書 3ページ目に詳細を記載しています)

図 書 名	著 者	出 版
地 方 自 治		
★ 自治体事業 考え方・つくり方	吉田 博(編著)	学陽書房
ま ち づ く り		
★ 地域ブランディング実例集 地域のトップランナーに学ぶ地域に生かせる事例	Discover Japan編集部	榊出版社
そ の 他		
★ 昭和天皇実録 第三 自大正十年 至大正十二年	宮内庁(編)	東京書籍
昭和天皇実録 第四 自大正十三年 至昭和二年	宮内庁(編)	東京書籍
なるほど知図帳 日本2016	旺文社(編)	旺文社
なるほど知図帳 世界2016	旺文社(編)	旺文社
日朝中世史恨みの起源 「恨み1000年」の深淵・日朝の真実をのぞく	室谷 克実(監修)	宝島社

Rediscovery Wakayama City! ～再発見・和歌山市～

紀州の銘酒 世界一統



和歌山の人なら誰でも知っている、紀州の銘酒「世界一統」。市役所のすぐ近くに本社があり、博物学者・南方熊楠の生家としても有名です。

「世界一統」は元々「南方酒造」といい、明治17年に南方弥右衛門(熊楠の父)が酒造業として創業しました。現在社名にもなっている銘柄の「世界一統」は、2代目の南方常楠(熊楠の弟)の時代に名づけられました。このとき名づけ親となったのが、**大隈重信**です。

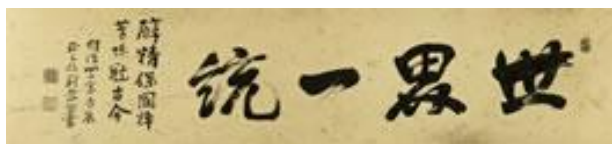
常楠は早稲田大学で大隈重信に師事し、OB会の和歌山県人会長を務めた人物でもありました。その縁で、大隈が高野山に参詣した際、酒の命名を頼んだそうです。「一統」とは「ひとつにまとめ、治めること」を表しており、この名前には「酒界の一統」たれという思いが込められています。さすがは歴史に名を残した明治の元勳の命名！なんともスケールの大きい名前ですね。

また、大隈がこの名をつけたことを、日本近代郵便制度の創設者である**前島密(まえじま ひそか)**が賞賛し、自筆で記した世界一統の書を寄贈したといわれています。これが、現在の世界一統のロゴとなっています。

聞きなれた「世界一統」の名前が、まさか歴史上の偉人によって名づけられていたとは…！和歌山市の知られざるエピソードを再発見です。



大隈重信  
(1838～1922)  
日本の政治家・教育者。  
第8代、第17代内閣総  
理大臣。早稲田大学の  
創立者。



世界一統のロゴ(左)と前島密書の「世界一統」(右)

